

田植えから

コメができるまでを体験

ふれあい農園 『収穫祭』

11月26日(土)、幌別東小学校を会場に、幌別小学校、幌別東小学校、幌別中学校の児童や生徒などが収穫した新米を味わう『収穫祭』(登別市学校支援地域本部実行委員会・幌別中学校区地域教育協議会主催)が行われました。

この収穫祭は、5月にふれあい農園(千歳町)で行った苗の植え付けから、10月に行った稲穂の刈り取りまでの稲作を体験して、実際に自分たちの手で収穫したコメを食べてもらう学校支援活動の一環であり、平成4年から毎年実施されています。

収穫したコメは『ななつぼし』120キログラムで、『のぼりべつ豚』を使用した豚丼として振る舞われ、参加者はおいしく味わいました。

子どもたちは、「田植えをしたときから食べるのを楽しみにしていました」と笑顔で話し、コメの収穫を喜びました。



▲たわわに実った稲穂を見て喜びを感じた『稲刈り』



▲成長を願い手作業で丁寧に行った『田植え』



▲育てたお米を食べて食の大切さを感じた『収穫祭』

11/26

消費者被害を未然に防ごう

消費生活出前講座

11月25日(金)、登別青嶺高校で『消費生活出前講座』(市消費生活センター主催)を開催しました。

約一年後に就職や進学を控える同校の2年生を対象に、契約に関するトラブルの注意喚起を行うため実施した同講座では、インターネットトラブルなどを実例を交えながら紹介したほか、騙す人と騙される人をそれぞれ生徒が演じ、多重債務を抱える事例を疑似体験しました。

参加した生徒は、「自分も消費者トラブルに巻き込まれる可能性があることを知ったので気をつけていきたいです」と話してくれました。

11/25



▲消費者トラブルを疑似体験する生徒



▲講演に真剣に聞き入る参加者



▲力作をたたえ、表彰状を贈られる児童

男女がともに活躍できる社会に

『男女共同参画作品表彰式』と

『男女共同参画フォーラム2016』

11月20日(日)、市民会館で『男女共同参画作品表彰式』(市主催)を開催し、小学4年生から高校生までを対象に男女共同参画社会を表現した標語などを募り、40作品を表彰しました。

続いて開催された『男女共同参画フォーラム2016』(市男女共同参画社会づくり推進会議、公益財団法人北海道女性協会主催)では、弁護士的小林由紀さんが、老後のお金や健康、消費者トラブルなどの問題解消に役立つ支援制度や心掛けについて講演。参加者は「安心して老後を迎えるために役立つ話を聞くことができました」と話していました。

11/20